

# と き 共 生

2016年7月

Vol.03

社会福祉法人  
札幌慈啓会 広報誌

## 法人広報誌「共生」の 発行にあたって



社会福祉法人 札幌慈啓会

理事長 太田 眞 琴

法人広報誌の発行にあたって

一言ご挨拶を申し上げます。

私どもの法人を取り巻く情勢は、高齢化の急速な進展で高齢者における医療・介護制度の今後の対策が大きな課題となっております。国も団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて様々な取り組みを講じているところがございます。また、平成28年度から平成29年度にかけて行われる社会福祉法の改正においては、地域における公益的な取り組み、事業運営の透明性の向上、経営組織のガバナンスの強化、財務規律の強化が求められることとなります。このような情勢の中、当法人は、創設当初の福祉の原点を常に見据え、法人の理念である「共生」の精神のもと、「保健・医療・福祉」のトータルケアに努め、法人運営を行っていく所存でございます。

この度、発行させていただきました広報誌では、現在当法人が行っている様々な事業の一部をご紹介させていただくとともに、少しでも皆様方に、当法人の今をご理解していただけるような記事を満載した内容とさせていただきます。お待ちしております。

今後とも、当法人の運営に際しまして、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



# 第22回札幌慈啓会福祉・病院学会

「共生」の理念とともに未来への新たな挑戦の開催を終えて



去る平成27年10月17日（土）、札幌市社会福祉総合センター4階大研修室において、開設90周年記念事業として第22回札幌慈啓会福祉・病院学会を開催致しました。当日は天候にも恵まれて183名の来場者を数えました。

札幌慈啓会は大正14年10月に札幌養老院開設からスタートし、激動の時代にも飲み込まれることなく、今日に至りました。開設以来、高齢者とその家族の方々に寄り添いながら支えとなり、地域に根ざした法人として保健・医療・福祉事業を展開してまいりました。

昨年は事業を始めて90周年という記念すべき年でありましたが、昭和48年より開催している

福祉・病院学会の開催年とも重なりましたので、いつもの学会の内容をより拡大させ、開催時間も終日に延長し開催しました。内容としては、職員等が業務を通して取り組んだり、調査・検証した研究発表を16題、市民の健康意識高揚に向けた情報提供として公開講座を1題、そして、我々の業務にも今後沢山の効果を生むことになるであろう最先端の研究について記念講演として外部講師を招聘し1講演、開催致しました。

職員等の研究発表は緊張感のあふれる雰囲気もありましたが、日々の自分の業務を積み重ねる中で生まれた疑問の解決や、この研究を通して今後の業務の糧になるという自信に溢れた発表ばかりでした。

記念講演は「福祉工学への招待〜高齢社会を支えるITとロボット〜」と題して、東京大学名誉教授（高齢社

会総合研究機構）工学博士 伊福部 達氏をお招きし、昨今マスコミでも取り上げられている介護・福祉現場におけるITとロボットの活用についてお話いただきました。とても興味深い内容もあって、アンケートでも大変好評な感想が寄せられ、盛会のうちに終了することができました。

既に職員は100周年に向けて、地域住民のニーズの実現に根ざした開かれた事業運営をさらに推し進めるべく日々の業務に取り組んでおります。





# 啓明ともいき保育園

## おまつりごっこ

今年3歳児から5歳児の異年齢クラス（ひまわりグループ・こすもすグループ・すみれグループ）で、おみこしを製作することから準備が始まりました。

みんなで相談した結果、グループのおみこしとわかるようにグループ名の花をメインにして、みんなの似顔絵も貼り付け、2週間ほどで各グループの特徴のあるすてきなおみこしができあがりました!!

近所の方たちにも見てほしくてポスター作



りにも挑戦しました。

出来上がったポスター

を、いつもお世話にな

っている伏見会館、郵便局、園医さ

んの病院に年長のきりん組

さんが持っていていき、みんな

で「おねがいしまーす!!」と頼んできて、子ども達のお祭り

ごっこに対する期待も高まってきました。

当日は、前日の雨がうそのように晴れ渡

り、おそろいの法被を着て園庭でグループご

とにおみこしの紹介と「げんきにかつぐぞー」と出陣式。保育園から伏見会館、郵便局の前

を通過して幌西自転車公園まで各グループの

4・5歳児が担ぎ、後ろから3歳児は応援隊

として参加です。掛け声もたくましく、信号

待ちの車の中の人やバスの乗客の方も笑顔で

見てくれていました。ポスターの効果もあつ

て、公園の中には予想以上の見学の人が

……。公園に到着する頃、ちよっぴり元気が

なくなっていたのが、手拍子に励まされて掛

け声も元気いっぱい!! 応援隊の3歳児も公

園内でおみこしを担いでまたまた盛り上が



り、4・5歳児が担いで園医さんの病院の前をとおって戻ってきました。

戻ってからは縁日ごっこのはじまり、はじまりー!! ジュース屋さんでのどをうるお

し、＼ヨーヨー釣りに＼ゲーム＼くじ引き

とお楽しみがいっぱい。早くにチケットを使

い果たし、ヨーヨーや景品で遊ぶお友だちも

コーナーをのぞくお友だちもいて楽しみ方は

さまざまでしたが、一人ひとりの心におこ

る、たのしいおまつりごっこになりました。

(啓明ともいき保育園 保育士 相原)

# 平成 27 年度 法人決算報告

(単位：千円)

## 貸借対照表

(平成 28 年 3 月 31 日現在)



資 産 の 部		負 債 の 部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
<b>流動資産</b>	1,206,374	<b>流動負債</b>	804,648
現金預金	449,904	事業未払金	291,390
有価証券	10,000	1年以内返済予定設備資金借入金	208,284
事業未収金	698,145	1年以内返済予定長期運営資金借入金	57,120
未収金	1,011	1年以内返済予定リース債務	30,156
未収補助金	30,836	1年以内返済予定長期未払金	644
未収収益	3,566	未払費用	46,290
医薬品	1,786	預り金	1,967
診療・療養費等材料	1,358	職員預り金	34,258
給食用材料	17	前受収益	18
立替金	3,510	仮受金	7,034
前払金	1,713	賞与引当金	127,482
前払費用	4,243	<b>固定負債</b>	1,976,927
仮払金	250	設備資金借入金	1,265,625
その他の流動資産	30	長期運営資金借入金	242,444
<b>固定資産</b>	4,783,811	リース債務	57,189
基本財産	3,914,611	退職給付引当金	411,667
土地	154,300	<b>負債の部合計</b>	2,781,575
建物	3,760,311	<b>純資産の部</b>	
その他の固定資産	869,200	基本金	604,016
土地	20,100	国庫補助金等特別積立金	1,416,037
建物	262,192	その他の積立金	119,293
構築物	25,960	施設整備等積立金	61,397
機械及び装置	6,220	人件費積立金	21,784
車輛運搬具	7,004	その他の積立金	36,112
器具及び備品	48,350	次期繰越活動増減差額	1,069,263
有形リース資産	87,319	(うち当期活動増減差額)	(△ 14,655)
権利	106		
ソフトウェア	1,951		
投資有価証券	42		
長期貸付金	1,940		
措置施設繰越特定資産	22,500		
施設整備等積立資産	52,954		
人件費積立資産	7,726		
その他積立資産	36,112		
その他の固定資産	288,717	<b>純資産の部合計</b>	3,208,611
<b>資産の部合計</b>	5,990,186	<b>負債及び純資産の部合計</b>	5,990,186

## 資金収支計算書

(自)平成 27 年 4 月 1 日 (至)平成 28 年 3 月 31 日 (単位：千円)

勘定科目		金額
事業活動による収支	収入	
	介護保険事業収入	1,941,839
	老人福祉事業収入	578,284
	保育事業収入	116,289
	医療事業収入	1,804,653
	借入金利息補助金収入	1,842
	経常経費寄附金収入	5,660
	受取利息配当金収入	204
	その他の収入	17,877
	事業活動収入計(1)	4,466,650
支出	人件費支出	2,880,391
	事業費支出	713,021
	事務費支出	580,105
	利用者負担軽減額	49,180
	支払利息支出	32,040
	流動資産評価損等による資金減少額	10
	事業活動支出計(2)	4,254,749
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	211,900	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等収入計(4)	0
	支出	
	設備資金借入金元金償還支出	208,022
固定資産取得支出	17,746	
ファイナンス・リース債務の返済支出	28,704	
施設整備等支出計(5)	254,473	
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	△ 254,473	
その他の活動による収支	収入	
	長期運営資金借入金収入	200,000
	長期貸付金回収収入	130
	積立資産取崩収入	2,356
	その他の活動収入計(7)	202,486
	支出	
	長期運営資金借入金元金償還金支出	51,880
	長期貸付金支出	600
積立資産支出	20,000	
その他の活動支出計(8)	72,480	
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	130,006	
当期資金収支差額合計(10) = (3) + (6) + (9)	87,433	
前期末支払資金残高(11)	737,982	
当期末支払資金残高(10) + (11)	825,415	

## 事業活動計算書

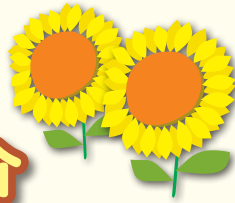
(自)平成 27 年 4 月 1 日 (至)平成 28 年 3 月 31 日 (単位：千円)

勘定科目		金額
サービス活動増減の部	収益	
	介護保険事業収益	1,941,839
	老人福祉事業収益	578,284
	保育事業収益	116,289
	医療事業収益	1,804,653
	その他の事業収入	42,295
	経常経費寄附金収益	5,660
	サービス活動収益計(1)	4,489,021
	費用	
	人件費	2,893,441
事業費	713,021	
事務費	580,105	
利用者負担軽減額	49,180	
減価償却費	269,805	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 83,234	
徴収不能額	10	
サービス活動費用計(2)	4,422,330	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	66,690	
サービス活動外増減の部	収益	
	借入金利息補助金収益	1,842
	受取利息配当金収益	204
	その他のサービス活動外収益	17,877
	サービス活動外収益計(4)	19,923
	費用	
支払利息	32,040	
サービス活動外費用計(5)	32,040	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	△ 12,117	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	54,573	
特別増減の部	収益	
	その他の特別収益	351
	特別収益計(8)	351
	費用	
固定資産売却損・処分損	10,862	
特別費用計(9)	10,862	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	△ 10,511	
当期活動増減差額合計(11) = (7) + (10)	44,061	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,042,844
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	1,086,906
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	2,356
	その他の積立金積立額(16)	20,000
	次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	1,069,263

(注)詳細については、法人ホームページ及び札幌市ホームページをご参照下さい。



## 地域医療連携室 医療相談室の 取り組みと事業紹介



日頃より、慈啓会病院をご利用いただき誠にありがとうございます。

4月1日から慈啓会病院の地域医療連携室・医療相談室は、これまでの医療ソーシャルワーカー3名に看護師が加わり4名体制となりました。福祉を専門とする医療ソーシャルワーカーと医療を専門とする看護師が協働して、『前方連携』『後方連携』をこれまで以上に強化していきたいと考えております。『前方連携』は、地域医療機関や福祉・介護施設、あるいは在宅支援機関からの受診相談や入院相談、『後方連携』は患者様やご家族様からの療養相談、社会資源の情報提供、退院支援や在宅調整などが主な業務となります。

国が目指す地域包括ケアシステム(重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組み)の構築が進む中で、当院は地域の医療機関や施設と円滑な連携を図り、患者様に適切な医療サービスが提供できるよう取り組んでまいります。顔の見える連携を心がけ、患者様ご家族様を中心に病院の垣根を越えたチーム医療が展開できるように信頼関係・ネットワークを構築していきたいと思っております。

当院をご利用される患者様、ご家族の皆様にご満足頂けるよう、取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室長 本川 奈穂美



### 主な業務内容

- 入院相談、転院相談
- 病院の見学案内
- 入院患者様の退院支援
- 外来受診相談
- 地域の医療機関、福祉施設との連携
- 介護保険および福祉制度に関する相談

### 地域医療連携室／医療相談室

TEL 011-561-8292

E-mail renkei-hos@sapporojikeikai.or.jp

受付時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30

## “山開き” 登山者血圧測定サービス

慈啓会病院を多くの方に知っていただくことと、「看護の日(5月12日)」イベントの一環として、毎年、登山者の皆様へ無料血圧測定サービスを行っております。

今年は藻岩山「山開き」に合わせ、5月31日に実施いたしました。当日は曇り空ではありませんでしたが、皆様に一休みしていただける場として利用していただくことができました。年齢も様々な方が元気に登山している姿に触れること



ができ、私達も元気をもらうことができた一日でした。皆様の健康管理のお役に少しでも立てるよう、このような企画を継続していきたいと思っております。

## 施設紹介

### 慈啓会ふれあいの郷 (養護老人ホーム・生活支援ハウス)

慈啓会ふれあいの郷は、養護老人ホームと生活支援ハウスの2つの施設が併設されており、

養護老人ホームとは、65歳以上の方が入所できる施設となっており、全室個室、食事は給食方式で提供させて頂いており、定員は100名となっております。

生活支援ハウスは60歳以上の札幌市民が入所できる施設となっており、自炊型の施設で20名の定員です。両施設とも要介護状態になれば、介護保険の居宅介護サービスを受けることが



出来る施設となっております。稲穂区にある手稲神社のお祭りは毎年、敬

老の日に秋季例大祭が開催されます。それに合わせて、お旅所の一つである当施設と隣の札幌市稲寿園には神輿や稚児舞、天狗が来られ、ご祈禱をして頂きます。遠くから、お囃子の音が聞こえると、入居されている皆さんは外に出られて来るのを待ち構えています。

ご祈禱が終わると施設内で敬老会の式典が始まります。式典では長寿のお祝いを行い、昼食を頂きます。毎年、生寿司でのお祝いをさせて頂き、入居者の皆様からも大好評を頂いております。昨年は、昼食後に芝オケがってん一座による芝居とパフォーマンスショーも見せて頂きました。

ふれあいの郷での生活が少しでも豊かになるように、これからは様々な行事を企画していきたいと思っております。

(お問い合わせ先 011・682・1821)

## 施設紹介

### 慈啓会老人保健施設

慈啓会老人保健施設は、医師をはじめ、リハビリ専門職である理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、並びに看護師、介護職員、相談員等が連携し、ご利用者様の在宅復帰や生活動作能力の維持向上等を目指しています。

隣接する慈啓会病院による医療サポート体制のもと、ご利用者様の尊厳を守り、安全に配慮し、環境・食事等を含め、質の高いサービスが提供できるよう努めています。

当施設が行うサービスは大きく分けて、①入所サービス ②ショートステイ ③デイケアとなります。

入所サービスは、一定期間入所していただき、必要な看護・介護を受けながら、リハビリ専門職を中心とした個別・生活リハビリを提供します。各職種で連携し、在宅復帰を目指し、心身機能や生活動作の維持・回

復・向上を図ります。

ショートステイは、ご利用者様の療養やご家族の都合など、様々な理由により短期間(1カ月程度まで)の入所ができ、施設入所と同様のリハビリや看護・介護を受けることが可能です。



デイケアは、当施設の送迎車にて自宅から通っていただき、リハビリを受けていただくサービスです。また、入浴や食事・レク等のサービスも提供しています。

見学やサービスのご利用等をお考えの方は、是非お問い合わせください。

(お問い合わせ先 011・520・8085)



# 慈啓会後援会からのお知らせ

## 地道な活動ではありますが

慈啓会後援会は平成9年度に慈啓会の事業を支える協力団体として、20名余りの方が世話役となり、数多くの方の賛同を得て設立し、地道な活動ではありますが、慈啓会福祉事業推進の大きな力となっております。

会の発足当時は、高齢者の急速な増加に対し、介護サービスの充実強化が強く求められていたため、慈啓会ではいち早く特別養護老人ホームの増改築やデイサービス、ヘルパーステーション等の事業に着手し、地域福祉、在宅福祉の拠点としての役割を担うべく取組みを進めたことから、以来、後援会も施設整備に係る財政支援などで後方支援を行っております。

## 平成28年度総会報告

去る6月7日に定期総会が開かれ、平成27年度の決算と平成28年度の事業計画及び予算の審議が行われましたので簡単にお知らせいたします。

### ①予算と決算

決算・予算	収 入(千円)	支 出(千円)
平成27年度決算	・会費・寄附金 3,690	・事務事業費 482
	・雑収入 482	・法人繰入金 3,690
	計 4,172	計 4,172
平成28年度予算	・会費・寄附金 7,000	・事務事業費 690
	・雑収入 690	・法人繰入金 7,000
	計 7,690	計 7,690



②事業計画では、会員の募集、慈啓会への財政支援、広報誌の発行及びバス停側にハンギング植栽を予定しています。  
※総会終了後は、聞くと役に立つ健康や体に関する講演を医師などが毎回行っております。  
今年の講演は、「転ばない身づくりについて」と題し、慈啓会病院理学療法士がお話しさせていただきました。

## 会の加入お願い

高齢化が進みサービスの利用希望が増える中で、施設は安定的に継続してご要望に応じていく責務があり、会員様のご協力とご支援は法人の福祉事業推進で大きな支えとなっております。一人でも多くの方のご加入をお待ちしております。

### お問い合わせは

### 社会福祉法人 札幌慈啓会 後援会事務局

〒064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号

TEL : 011-561-8291 FAX : 011-561-8298



## 地域清掃活動の報告

札幌慈啓会の手稲区にある「ふれあいの郷養護老人ホーム」では、昨年の6月から、また、旭ヶ丘にある病院など4施設は今年から、施設に隣接する地域の清掃活動を定期的に始めました。

昨年から始めた「ふれあいの郷」では、入居者の方にも声掛けし職員と一緒に地域のゴミ拾いのボランティアを始めました。オレンジのビブス（施設名の入ったゼッケン）を着て、手には軍手とヒバサミ、ゴミ袋を持ち10名以上の方が毎回参加しています。

今年から始めた旭ヶ丘地区では、昼休みを利用しての活動ですが25名近くの職員が集まり、3グループに分かれてバス路線や生活道路のゴミ拾いに汗を流しました。

両地区とも環境に恵まれ、目立ったゴミはありませんが、地域に根付いた親しまれる施設を目指し、今後も継続して取り組んでいく予定です。



## 札幌市 稲寿園

### オープンカフェ事業スタート

札幌市稲寿園では、これまでも「地域に開かれた施設」として地域に親しまれるよう取り組んできたところですが、昨年度からは地域の皆様からのご意見も参考に、交流の場として「オープンカフェ」事業をスタートさせました。

このオープンカフェは、5月から10月までの毎月1回、施設内で開催するもので、参加者の方に飲みものを提供し、気軽に交流していただくとともに、施設職員も同席し高齢者の在宅生活などに役立つ身近な情報を提供することを目的としております。

毎回、10名程度の地域住民や関係者にご来場いただいております。



## 旭ヶ丘 地区

### オレンジカフェを実施

オレンジカフェは認知症の方やご家族、地域住民、専門職等の誰でもが参加することが出来る集いの場です。現在、認知症支援事業として札幌市だけでなく、全国各地で展開されています。慈啓会でも、はじめて旭ヶ丘地区で昨年の10月30日（金）に実施しました。

明日から役に立つ一口講座として中央区第2地域包括支援センター職員による介護保険の話聞いたあと、特別養護老人ホーム理学療法士によるいきいき体操を参加者全員で行い、最後はお茶を飲みながら懇談をしました。

参加者は少なめでしたが、熱心に質問する姿が見られるとともに、今後の開催を望む声もいただきました。



#### 表紙題字揮毫：「共生」

長谷川白羊(はせがわはくよう)書。

昭和4年札幌市生まれ。本名・悦以(よしつぐ)。法政大学文学部卒。昭和35年山口子羊に師事。平成2年「札幌と書」(札幌市教育委員)に於いて「札幌の書家」百選に選ばれる。平成6年個展開催(於 札幌大丸藤井セントラル)

#### 表紙写真：「羊蹄山」

慈啓会特別養護老人ホームリハビリ室 榮木氏 提供

#### 広報誌「共生」 2016年7月 Vol.03

編集発行／社会福祉法人札幌慈啓会

[法人本部] 〒064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号  
(慈啓会特別養護老人ホーム1F)

TEL 011-561-8291 FAX 011-561-8298

http://www.sapporojikeikai.or.jp